

白い森まち歩きマップ制作プロジェクト！

今年度、町では「まちなか」のスポットやお店などを紹介して、遊びや暮らしに役立ててもらおうと「白い森まち歩きマップ」を制作することにしました。4月に制作メンバーを募集したところ、小国町で生まれ育った人や結婚して小国に移住した人、地域おこし協力隊など、6人のかたに応募いただきメンバーとして活動いただいています。

このプロジェクトは、生活情報誌E^エSS^セEなどを手がける(株)扶桑社と連携しており、観光パンフレット研究家の石田宜久氏にアドバイザーをお願いしています。また、同社が運営する「WEBマガジンカラふる」で制作過程や小国町の魅力を発信することとしており、7月末に第1弾の記事が掲載されました。

これまで、オンラインを交えながら4回のミーティングを行い、どのような人に手に取って

もらいたいか、掲載情報の内容マップの大きさはどうするかなどを話し合ってきました。イラストやレイアウトのイメージも固まりつつあり、1月の完成に向けて着々とプロジェクトが進んでいます。

8月には、制作メンバーを対象にWEBでの情報発信に役立つセミナーを開催し、今後もメンバー自らが「カラふる」を活用して町の魅力を発信していく予定です。

小国町に住んでいる皆さんにとっても、新たな発見や情報が得られるマップを目指していますので、どうぞ楽しみにお待ちください。

完成したマップは、アスモのまちの駅や道の駅白い森おぐに、JR小国駅等、町内各施設に設置予定です。制作メンバーの思いが詰まったマップですので、ぜひ多くのかたに手に取っていただき、まち歩きしていただきたいと思います。



WEBマガジンカラふるに掲載されている記事は、こちらからご覧ください！



挑め、ともに！

～小国高校魅力化通信③～

小規模校サミット～小規模校だからこそできることがきつとある～

7月25日(木)、全国高等学校小規模校サミットが開催されました。平成30年度に始まり7回目となる今回は、全国8県(山口、広島、高知、長野、栃木、福島、宮城、山形)13校から115名の生徒が小国高校に集結し、小規模校の未来について語り合いました。

普段全く異なる場所ですぐぶ高校生たちが、小規模校というテーマで一堂に会し、それぞれの取り組みや直面している課題について話し合いを行うことで、多くの生徒が新たな気付きを得ました。

【参加した生徒の声】

自分の学校が抱える課題とほかの高校の抱える課題が似ている部分も多くあり、多面的に深く考えるきっかけになりました。他校の人と真剣に楽しく考えることが出来て、

良い経験になりました。(山形県立左沢高等学校生徒)

自分の高校よりもさらに小規模な高校に所属する生徒と話す良い機会でした。ほかの高校の生徒からそれぞれの悩み事を聞き、自分が今まで感じてきたものとは違いましたが、共感できる場所もあり、自分の学校や地域でもそのような課題を感じている人がいるかもしれないと思うきっかけになりました。(長野県立白馬高等学校生徒)

県外の高校生と話す機会はめったにないので、とても貴重な機会になりました。全く違う環境にある小規模校の生徒の皆さんとたくさん話をすることができ、お互いの地域の良さを考え、語り合うことができました。(山形県立小国高等学校生徒)

